



新風会
大場 博文
議員

▼本市の障がい者福祉事業について

Q 聴覚障がい者の方へのこれまでの取り組みと今後の考えはどうか。

A コミュニケーション支援事業として、手話通訳者と要約筆記奉仕員の派遣事業を行っている。また、手話奉仕員を養成するための手話奉仕員養成事業、さらに補聴器購入の助成や聴覚障がい者用の日常生活用具の給付を行っている。今後も、さらに事業の周知を行うことでサービスの利用者をふやし、聴覚障がい者の方々の社会参加の促進に努めたい。

Q 聴覚障がい者の方が市の窓口に来られた際に、対応できる体制となっているのか。

A 耳の不自由な方は筆談しますので、申し出てくださという「耳」のマークを掲示していたが、書く場所も道具もないという指摘を受けた。その後、各公民館や窓口などの十六カ所に筆談ボードを設置したところである。

Q ボランティア団体の方々と連携をとり、行政としてサポートするべきだと思うがどうか。

A ボランティア団体、社会福祉協議会とも相談しながら、障がい者の方々が社会参加できるよう進めて行きたい。

▼島鉄外港駅からの廃止路線の活用と外港駅周辺の整備について

Q 南線跡地について、島鉄から正式に譲渡を含めての打診があったと聞いているが、市としてどのように考えているのか。

A 南島原市へも同じ内容の提案がなされている。廃止路線全体の九割が南島原市にあるため、南島原市の意向も聞きながら検討していきたい。

Q 高規格道路の開通に伴い、道路環境が変化し、交通量がふえている。外港駅の北側への移設も含め跡地を道路として活用できないのか。

A 外港駅は駅からさらに百数十メートルほど線路を延長し、緩衝区間を設けている。緩衝区間を廃止するためには多額の費用がかかり、また排水対策などの多くの課題が残されているため、外港駅周辺の生活道路の環境等を踏まえ、総合的に検討していきたい。



青 鞆
松坂 昌應
議員

▼古川新体制の一年何が変わり何が変わらな

いのか。

Q ①順調に進んでいる改革と取り組み、②順調に進まないものの要因、③市長、市職員の今後の課題は何か。

A ①入札における公開ランダムを導入、バック利用時の航空運賃算出額の変更、委託料を除く予定価格が三万円未満の見積書の省略、すこやか赤ちゃん券の支給、第四小学校の校庭芝生化、市役所早朝窓口サービスの実施など。②市民との対話を重視して施策に取り組んでいるため、成果が出るまで時間がかかるが、着実に前進していると感じている。③市長を初め、市職員が積極的に地域に出て、市の施策を広報するとともに、メディアを使い、県内外にも情報発信することが課題である。

▼市庁舎建設について

Q プロポーザル設計のプレゼンテーションは公開で行うのか。また、生田議員、山本議員が、プロポーザルの募集の際に制約を設けるのかとの質問を

したが、答弁は、柔軟な意見を求めたため、細かな制限は設けないというものだった。私も要望しておきたい。

A 最終的に三、四社に業者を選定し、プロポーザルのプレゼンテーションは公開で行いたいと考えている。

▼島原の教育と東京学生寮

Q 稽古館は島原大変の翌年、人材育成のために開設され、島原の歴史に重要な役割を果たしたと思う。このことを市内の学校で教えているのか。

A 現在は教えられていないが、郷土を知る意味では教材になり得ると思う。

Q 東京学生寮の廃止の権限はどこにあるのか。

A 教育委員会が廃止の方針を決めるが、東京学生寮は設置条例があるため、議会の議決事項となり、議会で決定していただくことになる。

Q どのような経緯で東京学生寮が今年度の三月末で廃止の方針となったか。

A 昨年十月、市内部の企画委員会で、現在の一年生が卒業する平成二十九年三月末での廃止という意見でまとまった。しかし、その後開かれた教育委員会では、大切な子供の命を守るために、断腸の思いで今年度の三月末での廃止をし、その後の措置は十分に考えてほしいという結論であった。